

京都教育大学生協 大学生生活説明会・合格者の集い



[新学期]

取り組み概要

日時：2022年3月20日
場所：京都教育大学
参加者数や組合員の反応：3月20日は36組76名の参加がありました。参加者は全員が笑顔で帰っていく様子が見られました。

背景や概要：新入生の不安を解消することや入学前に同じ領域の友達を作ることが背景にある。1月と3月に合計5回開催され、午前に大学生生活説明会、午後には友達作り企画として「合格者の集い」が開催されていた。

対面開催の良さを実感できる説明会

POINT.1

4年間を意識した大学生生活説明会



大学生生活説明会では4年間の時間割や心得が話されていました。教育実習などを交えてスーツの必要性、学校の購買には筆や絵の具、教員採用試験の問題集が売られていることなど、**教育大学ならではのこと**を沢山伝えることができていました。

学生委員は赤のパーカーを着て、新入生との差別化を図り、説明会中はタイムキーパーを設置し、**説明会がスムーズに進んでいました。**1年生から4年生が**自分の経験をもとに発表し、参加者の不安を解消したり、場を和ませるような発表**などを行っていました。

POINT.2

対面の良さを感ずる合格者の集い

コロナ禍でも対面で開催できるメリットを最大限に活かしていました。合格者の集いでは新2年生が企画長やGLを担当します。新入生が楽しめるゲームを部会で考え、なかには現代っぽくLINEグループを活用したゲームもありました！

新入生の気持ちが1番分かる新2年生がゲームを進行し、先輩への質問コーナーを行うことで、新入生にとって沢山の不安が解消されて、素敵な雰囲気を作ることができていました。



POINT.3

学生委員会の行動力と暖かさを感じる輪



大学生生活説明会と合格者の集いは学生委員会のメンバーが教室の設営や参加者の配置、飛び込み参加の対応、タイムテーブル、パワーポイントの作成を行います。**4学年が一丸となって1つの企画に力をいれ、それぞれの想いをもって開催しているところが魅力的です！**

コロナ禍での対面開催では、アルコール消毒・フェイスシールド・ビニール手袋など装備し、感染対策も徹底していました。

コロナ禍においても積極的に対面の企画を開催することで、**学生委員会内の交流や対面での手法を引き継ぐことができ、今後の企画にも活かすことができます。**